

ワークショップの流れ（全70分での構成例）

目標：自身の取組とSDGsの関わりについて共感をもって聞いてもらえる物語を考える

●前説、ワークシートダウンロード案内（5分）

●SDGsとのどんな関わりを物語にするかを考える（SDGsワーキング用シート）

○自身の取組とSDGsの関わりの確認（5分）

- ・自分の取組を四角の中に記入する。
- ・U字ワークシートを記入、関連のあるゴールと線を引く。
- ・なぜそのゴールと関連するかを記入する。

○その中から一つ～三つ選んで説明内容を考える（人に訴える内容であればあるほど）。（10分）

- ・ワークシートに考えた説明内容を記入する。
- ・取組内容⇒なぜそのゴールに貢献するのか⇒貢献するゴールやターゲット

結果の紹介（5分）

●共感する物語を考える（物語ワークシート）

○活動でSDGsのゴールに貢献すると幸せになる主人公を考える（5分）

例）ゴール11：海の生態系の場合

- ・魚が取れなくなって困っている漁師
- ・海岸が汚れて遊び場がなく悲しんでいる地元の子ども
- ・仲間がビニール袋を食べて餓死してしまうのを見たウミガメ
- ・実際に困っている人を（仮名で）登場させてもよい

作業状況チェック（5分）

○誰に共感してもらいたいのか、誰なら共感してもらえるかを考える（5分）

- ・自分が説明したい対象は誰か
- ・共感してくれそうな人は誰か
- ・主人公の物語を聞いてくれそうなのは誰か

作業状況チェック（5分）

○考えた主人公から見た、SDGsへの貢献で幸せになる物語を作ってみる（15分）

- ・主人公が困っていたこと
- ・困っていた原因
- ・「その取組」が解決に貢献してくれた（するはずの）こと
- ・「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか
- ・「その取組」の結果どんな変化がおきた（おきる）のか
- ・それによって主人公はどのように幸せになった（なる）のか

●物語を発表、感想（10分）

- ・いくつか選んで発表、発表者相互に感想